

私は耳が不自由です  
↑ 戸田市議会議員 無所属 39歳  
心の声が聴こえる街へ

たかのぶ  
佐藤 太信



↑ バリアフリー 実現!

プロフィール

- 昭和55年5月18日生 ●2歳の頃に失聴
- 市立戸田東小学校卒・市立戸田東中学校卒 ●県立浦和商業高校卒
- 中央大学法学部卒 ●大正大学大学院修了(臨床心理学)
- CAオーロニカレッジ留学 ●東京電力入社(安全管理業務)
- 児童福祉施設(社会福祉法人)
- 都内ろう学校(スクールカウンセラー、乳幼児教育相談) ●専門学校講師

【所属】埼玉県聴覚障害者協会前理事  
戸田市聴力障害者協会、戸田市身体障害者福祉会会長

【資格】臨床心理士、第二種電気工事士

【家族】妻(バイオリニスト)

【趣味】温泉めぐり、マラソン【座右の銘】継続は力なり

ご連絡先

〒335-0034 戸田市笹目5-4-15

☎ 048-494-6439

☒ satotakanobu.com

✉ info@satotakanobu.com

Facebookも更新中!

ごあいさつ

市議会議員として2年半が経過しました。令和という新しい時代、住みやすくなったと皆様方が思えるように魅力のある戸田市、まちづくりになるよう尽力してまいります。

取り組んでいます!

音響式信号機、点字ブロック設置!

新聞掲載(2019年4月18日毎日新聞)



点字ブロック

点字ブロックには、「線ブロック」「点ブロック」の2種類あります。「線ブロック」は、方向を示すためのもの。線の向きに進めることを表しています。

「点ブロック」は、注意を促すためのもの。転落や衝突を防ぐためのものです。点字ブロックが黄色いのは、弱視の人が見分けやすいためです。

音響式信号機

当事者の声を議会に届け、今年3月に市役所前交差点に音響式信号、後谷公園バス停から市役所までの歩道に点字ブロックが設置されました。

音響式信号は市内で14箇所、設置にあたっては音が鳴るため、近隣の同意が必要です。音響式信号機は、東西・南北によって「カッコー」「ピヨピヨ」と音が異なります。\*

\*鳴り方は地方によって逆になる場合があります。



「議会も多様性を」

障害もつ候補者奮闘



議会からまちづくりを進めたい!という志を持ち市政に挑戦してから2年半が経とうとしています。私は耳が不自由であり補聴器だけでは情報の取得に限界があるため、バリアフリーのための支援を受けながら議会に臨んでいます。新聞記事にありますようにマイクで発言した音声は文字に変換され、パソコンに表示されます。このシステムは、議会に傍聴に来られる方々で、必要な方にも活用してほしいと考えております。議会傍聴者に対する導入にあたって様々な制約がありますが、市民全体の利益につながるようなシステムであってほしいと考えております。

3月議会報告

### 買い物難民を見据えた交通施策を！

Q 西部地区(笹目、美女木)の発展に向けた考えは。

A 基本方針として「公共交通が利用しやすい環境の整備」「徒歩・自転車で行動したくなる快適な移動空間の整備」「公共交通の利用促進に向けたモビリティマネジメントの推進」に基づき交通環境づくりを進める。

Q 買い物難民等が増加することを見据えた交通施策は。

A 課題を解決するための1つの手段として、民間主導による交通サービスの導入やデマンド型の交通サービスの導入が有効であると見込まれる場合には、具体的な検討段階に入る。



Q 高齢者等の公共交通利用促進に向けたシルバーパスの導入検討を。

A 市長 既存の福祉サービスや財政的な影響について、検討しているところです。これらを整理した上で、導入に向けて進めてまいりたい。



### 認知症施策の推進を！

Q ①若年性認知症施策の強化、②認知症の介助者への支援、③徘徊高齢者への対応は。

A ①「若年性認知症支援コーディネーター」を設置、②認知症介助者への支援として、認知症初期集中支援チーム(戸田病院、市民医療センターに設置)により計7件の相談に携わっている。③徘徊模擬訓練の実施、徘徊高齢者等探索システム利用者助成事業を行っている。



Q 認知症をはじめとした介護が必要な親、さらには子どもを育てるために育児も頑張らなくてはならないダブルケア、窓口の一本化を！

A 相談窓口の一本化として、福祉総合相談窓口を令和2年度に設置を予定。受付窓口は一か所となり、市民の利便性がより一層向上するとともに関係機関と連携できるように進める。



6月議会報告

### 特別支援学級教員の質の向上を！

Q 特別支援学級は来年度に新曽中、令和3年度に戸田東小・中学校に設置予定である。①特別支援教育に携わったことがない支援員や教員によるサポート体制が課題である。特別支援教育アドバイザーの役割は。②特別支援教育コーディネーターの役割、課題は。

A ①2名のアドバイザーが各学校を巡回、指導経験が少ない教師へのアドバイスをを行う。②特別支援教育コーディネーターは、全小・中学校に各1名以上配置、学級担任、保護者等との調整役を担う。担任との兼務により業務負担が大きいことが課題である。

### 選挙投票率アップの取組みを！

Q ①SNSを活用した情報発信は、告示日1回のみではなく写真を活用する等、投稿頻度を増やしては。②選挙公報の音声版、県議選でも配布を。③郵便による不在者投票制度の周知方法の検討を。

A ①投票呼びかけの内容を工夫し、発信の頻度を増やす。②県議選では配布していない。県選挙管理委員会に要望する。③重度の障がいがある場合、自宅等で投票用紙に記入、郵送可能。周知について福祉部と連携する。



## 議会報告

一般会計 554億2千万円(前年度+10.2%)

### 小・中学校体育館のエアコン設置

本年度 中学校の設計業務  
令和2年度 中学校にエアコン設置、小学校の設計  
令和3年度 小学校にエアコン設置

### SAITAMA出会いサポートセンター

・少子化対策  
・マッチングシステム  
県全体で  
会員 1533人  
46組カップル誕生  
(H31.1月現在)

### 彩湖自然学習センター

新たな触れ合いコーナーとして、施設1階にドクターフィッシュ300匹を設置。  
7月21日 体験会を実施しました。



### 自転車通行空間

昨年度までに7.35 kmの整備が完了しており、進捗率は25.6%である。



### 庁舎案内等検討業務

庁舎案内サインについて、本年度設置を進める。目の不自由な方々に意見聴取を実施。点字付案内サインを各階に設置する。

## 活動報告

### 健康福祉常任委員会

5月14日～15日、ネウボラの先進自治体である福島県伊達市、いわき市を視察してまいりました。ネウボラとは、妊娠期から切れ目のない支援のことであり、全ての妊産婦と就学前の乳幼児を対象にしています。この2ヶ所の自治体からは、①相談支援体制の強化(専門職の配置、ワンストップ窓口等)、②関係機関とのネットワークの構築(他部署と横の連携)、③産前・産後期支援事業の充実などの取り組みがみられました。戸田市版ネウボラを検討していく際には、上記の取り組みに加え、市内で相談できる箇所を明確にしていくこと、その情報を発信していくことが今後の課題です。



### 議会改革特別委員会

6月議会より議会で配布する紙資料は廃止、タブレット端末にあるデータにて確認。紙の削減、市職員の事務負担の軽減を図り、今後効果検証を実施します。



## 編集後記



暑さが厳しい時期になりました。議員としての任期は残り約1年半です。今までに皆様からいただいた声、先を見据えた提案、要望は市政へ反映させるべく、さらに邁進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。